

私の人権宣言 ～一人一人を大切にする生徒～

校長 西尾 英憲



授業参観、学級懇談会に参加頂きありがとうございました。どの保護者の方も距離を保ちながら私語なし参観をしておられました。こうした保護者の方のご協力のおかげで感染予防と学校活動の両立ができます。有難うございます。

4月12日に「人権集会」を開催しました。生徒指導主事からいじめの起こるしくみや法的な観点からいじめがダメであることを説明しました。その後、「いじめの

ない東中」にするために、自らどんな行動するのかを考えました。その一部を紹介します。

- ◇ いじめを見たら先生にすぐ報告か、仲間と一緒に止める。自分がもやもやしていたら、家族や担任の先生、相談員の先生などの人に話す。いじめられたら、相談する。いじめをしそうになったら、違うことを想像して、楽しいことを考える。など頑張りたいです。(1年)
- ◇ 初めて一緒にクラス、学年になった人が多いのでその人のよいところをたくさん探す。いじめの原因はイラつきや意見の違いだと思うから、よいところをどんどん見つけていけば、たくさん人のことを理解して一緒に過ごすことが出来ると思う。(1年)
- ◇ 私はまず仲間のことを知っていきたいです。理由は、仲間を知ること、仲間を認めることができ、認めることが出来れば、クラスの雰囲気が良くなって行って、いじめがなくなると思うからです。(1年)
- ◇ 悪口をなくすことが大切だと思います。なくすためには、プラス発言を自分から多くして、自分もみんなも守っていきたくと思いました。(2年)
- ◇ いじめができない空気にするために、いろいろな人に話しかけて、いじめができない空気にしたいです。(2年)
- ◇ もし、冷やかしゃからかいをしている人がいたら、「ダメだよ」と注意できるようになりたいです。自分がされて嫌だし、見ているのも嫌だからしっかりしたいです。(2年)

どの生徒の言葉からも、いじめのない生活にするという強い思いが伝わってきました。

最後に「私はいじめのない恵那東中学校にするために します。」と「私の人権宣言」を決めました。3年生のに書かれた一部を紹介します。

- ◇ 仲間の呼びかけにしっかりと応える。一人一人の意見を尊重する。(3年)
- ◇ 誰かを責めるのではなく、プラスの声かけをどんどん自分からする。(3年)
- ◇ いじめを見たらとめる。(3年)

学校においても、仲間のいいね、学級のいいね、学年のいいね、学校のいいね、家族のいいね、地域のいいね、そして「自らのいいね」を見つける「いいね」の取り組みを行い、思いやり溢れる、温かい人間関係づくりをすすめていきます。

先日、岐阜地方法務局、岐阜県人権擁護委員の方から「人権推進校」の指定をいただきました。障がい者スポーツ体験など、様々な人から学ぶ機会をもうけて、人権を大切にする意識と態度を身に付け「人権の花」を咲かせたいと思います。ご協力をお願いします。

